

# 第38回土木学会地震工学研究発表会(2018年)

10月4日(木)

	A会場 (コンベンションホール)	B会場 (中セミナー室1)	C会場 (中セミナー室4)
10:00-10:30	受付(A会場前)		
10:30-12:15	A11 ＜鋼構造・合成構造＞ 梶田幸秀(九州大学)	B11 ＜地中構造物・ダム・石積・土圧＞ 小野祐輔(鳥取大学)	C11 ＜断層変位・震源特性＞ 池田隆明(長岡技科大)
12:15-13:30	ランチタイム(運営幹事会12:15-13:15, 編集会議12:30-13:30)		
13:30-15:15	A12 ＜危機耐性・倒壊制御＞ 北原武嗣(関東学院大学)	B12 ＜液状化1＞ 佐藤清(大林組)	C12 ＜地震動特性＞ 久世益充(岐阜大学)
15:30-17:15	A13 ＜地震被害・熊本地震＞ 豊岡亮洋(鉄道総研)	B13 ＜斜面・地滑り＞ 上田恭平(京都大学)	C13 ＜地下構造・サイト特性＞ 野口竜也(鳥取大学)

10月5日(金)

	A会場 (コンベンションホール)	B会場 (中セミナー室1)	C会場 (中セミナー室4)
09:30-10:45	A21 ＜大阪府北部地震＞ 中村晋(日本大学)	B21 ＜液状化2・基礎＞ 吉田雅穂(福井高専)	C21 ＜地中構造物＞ 宮島昌克(金沢大学)
11:00-12:15	A22 ＜構造物の動特性＞ 藤倉修一(宇都宮大学)	B22 ＜被害予測・社会防災1＞ 奥村与志弘(関西大学)	C22 ＜ライフライン一般＞ 庄司学(筑波大学)
12:15-13:30	ランチタイム		
13:30-15:15	A23 ＜橋梁の動特性＞ 篠原聖二(阪神高速)	B23 ＜被害予測・社会防災2＞ 藤生慎(金沢大学)	C23 ＜対津波設計・津波防災＞ 小野祐輔(鳥取大学)
15:30-17:15	災害特別セッション		

(2018年9月27日版)

# 第38回地震工学研究発表会プログラム

## A会場(コンベンションホール)

10月4日(木)

10:30-12:15		A11 <鋼構造・合成構造>	座長: 梶田幸秀(九州大学)
講演番号	講演題目	講演者	
A11- 1267	繰返し軸力と曲げを受ける鋼部材の超低サイクル疲労挙動に関する基礎的研究	吉田聡一郎(名城大学)	
A11- 1270	低応力三軸度下における鋼材の延性破壊条件の予測精度の向上に関する研究	劉敵(名城大学)	
A11- 1277	鋼製補剛箱形断面橋脚の延性き裂照査法におけるひずみ集中補正係数に関する一検討	藤江渉(名城大学)	
A11- 1280	有孔座屈拘束ブレースの開発に関する基礎的研究	近藤加奈(名城大学)	
A11- 1348	断層変位を考慮したPC合成桁橋の応答評価に関する一考察	西村孝(九州大学)	
A11- 1389	超高減衰ゴム支承の変形挙動に及ぼす荷重方向の影響に関する実物載荷実験	目崎裕太(岐阜大学)	
A11- 1390	鋼上部構造へのせん断型ダンパー・ブレースの適用に関する検討	岩田隆弘(岐阜大学)	

13:30-15:15		A12 <危機耐性・倒壊制御>	座長: 北原武嗣(関東学院大学)
講演番号	講演題目	講演者	
A12- 1272	設計基準外事象に対する挙動を定性的予測可能なメナーゼヒンジRC構造の開発	五島健斗(京都大学)	
A12- 1275	超過作用により限界状態3に至ったRC橋脚の耐荷能力に関する評価	中尾尚史(土木研究所)	
A12- 1333	ブロック型倒壊方向制御構造を有するラーメン高架橋柱の静的載荷試験	豊岡亮洋(鉄道総合技術研究所)	
A12- 1334	橋梁耐震への危機耐性導入に関する一考察	武田篤史(大林組)	
A12- 1344	柱との接触条件をパラメータとしたブロック型倒壊方向制御構造の解析	布川博一(鉄道総合技術研究所)	
A12- 1368	レベル2地震損傷後に修復可能なRC橋脚の提案および実験的検証	忍田祥太(オリエンタル白石)	
A12- 1370	危機耐性を向上させる自重補償機構の提案と実験的検討	西村隆義(ジェイアール総研エンジニア)	

15:30-17:15		A13 <地震被害・熊本地震>	座長: 豊岡亮洋(鉄道総合技術研究所)
講演番号	講演題目	講演者	
A13- 1264	花蓮地震で被災した橋梁調査	幸左賢二(九州工業大学)	
A13- 1338	平成28年熊本地震における 俵山大橋の損傷メカニズムに関する基礎的研究	坂座真翼(九州大学)	
A13- 1352	熊本地震により被災した歩道橋の地震時挙動の推定	剣持崇平(東北大学)	
A13- 1355	2016年熊本地震における惣領橋の中間橋脚の沈下現象に関する一考察	副島健太郎(九州大学)	
A13- 1369	山岳地曲線橋の地震時挙動に関する研究	藤倉修一(宇都宮大学)	
A13- 1375	衝突時の波動伝播に着目した版桁橋の地震応答に関する研究	渡邊学歩(山口大学)	
A11- 1358	複数回連続強震を受ける無補剛箱形断面鋼製橋脚の耐荷性状に関する解析的検討	須藤遼(関東学院大学)	

10月5日(金)

9:30-10:45		A21 <大阪府北部地震>	座長: 中村晋(日本大学)
講演番号	講演題目	講演者	
A21- 1305	ケーソン基礎を有する鋼単合成板桁における2018年大阪府北部地震の地震観測記録と応答特性の評価	富健一(パシフィックコンサルタンツ)	
A21- 1312	免震支承を有する4径間連続鋼箱桁橋における2018年大阪府北部地震の地震観測記録と応答特性の評価	松本崇志(建設技術研究所)	
A21- 1357	10径間連続PC箱桁橋における2018年大阪府北部地震の地震観測記録と応答特性の評価	佐々木達生(大日本コンサルタント)	
A21- 1335	長大斜張橋における2018年大阪府北部地震の地震観測記録と応答特性の評価	馬越一也(地震工学研究開発センター)	
A21- 1364	長大トラス橋における2018年大阪府北部地震の地震観測記録と応答特性の評価	服部匡洋(阪神高速道路技術センター)	

11:00-12:15		A22 <構造物の動特性>	座長: 藤倉修一(宇都宮大学)
講演番号	講演題目	講演者	
A22- 1285	橋梁上に設置した柱状付属構造物の共振影響評価	伊佐 政晃(阪神高速道路)	
A22- 1302	重力式支持構造物を有する洋上風力発電タワーの動的転倒安全性評価方法に関する実験的研究	三好俊康(五洋建設)	
A22- 1363	2016年鳥取県中部の地震を対象とした木造建物の最大応答変形角評価式の検討	西村武(鳥取大学)	
A22- 1372	鉛プラグ入り積層ゴム支承(LRB)の耐久性検討のための鉛材料の低サイクル疲労特性の評価	篠原聖二(阪神高速道路)	
A22- 1387	基盤入力を用いた地震応答解析で得られた地盤-橋系の地震応答特性の分析	石井洋輔(国土技術政策総合研究所)	

13:30-15:15		A23 <橋梁の動特性>	座長: 篠原聖二(阪神高速道路)
講演番号	講演題目	講演者	
A23- 1292	メナーゼヒンジを有するロッカー橋脚のUBRC補強による耐震性能向上に関する検討	植村佳大(京都大学)	
A23- 1296	無筋橋脚の打継目移動制限装置による地震対策工法の解析的研究	坂岡和寛(西日本旅客鉄道)	
A23- 1315	2方向弾塑性キャパシティスペクトル法による矩形断面柱の地震応答値予測の試み	井上和真(群馬工業高等専門学校)	
A23- 1388	既設橋に予備せん断システムを適用した耐震補強効果に関するケーススタディ	宇野裕恵(イチイコンサルタント)	
A23- 1351	縦補剛せん断パネルを有する杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能に関する解析的研究	禰野航平(神戸大学)	
A23- 1360	フレームモデルによるブロック型倒壊方向制御構造の挙動評価	小野寺周(鉄道総合技術研究所)	

15:30-17:15		A24 <災害特別セッション(台風21号, 大阪北部の地震, 北海道胆振東部地震)>	座長: TBA
講演番号	講演題目	講演者	

# 第38回地震工学研究発表会プログラム

## B会場(中セミナー室1)

10月4日(木)

10:30-12:15		B11 <地中構造物・ダム・石積・土圧>	座長:小野祐輔(鳥取大学)
講演番号	講演題目	講演者	
B11- 1265	断層変位を受けるRCボックスカルバートの挙動に関する解析的検討	坂下克之(大成建設)	
B11- 1278	アーチダムの地震時応答と堆砂率の関係に着目した3次元動的解析	松本陽介(東電設計)	
B11- 1290	道路ボックスカルバートの地震時挙動の検証に関する解析的研究	ハツ元仁(阪神高速道路)	
B11- 1303	動的相互作用を考慮した橋台に作用する地震時主働土圧に関する実験的検討	野本将太(東日本旅客鉄道)	
B11- 1325	2016年熊本地震における熊本城百間石垣の被害状況および2D-DDAを用いた石垣崩壊挙動解析	恒川怜央(金沢大学)	
B11- 1336	3次元DEMによる地震時の組積構造に対する適用性の研究	大塚鎮(法政大学)	
B11- 1346	石積み擁壁の耐震性評価のためのFEMのモデル化に関する研究	堀井衿佳(法政大学)	

13:30-15:15		B12 <液状化1>	座長:佐藤清(株式会社大林組)
講演番号	講演題目	講演者	
B12- 1257	過剰間隙水圧の再分配に着目した細粒分を含む砂質傾斜地盤の側方流動	玉泉聡士(京都大学)	
B12- 1259	共分散構造分析とサポートベクターマシンによる液状化発生地点の予測	柳瀬匡雄(千葉大学)	
B12- 1266	液状化傾斜地盤の地震時挙動予測高精度化に向けた遠心模型実験及び有効応力解析	上田恭平(京都大学)	
B12- 1282	液状化地盤にあるRC造杭基礎の遠心力模型振動実験の三次元有効応力解析	伊藤浩二(大林組)	
B12- 1353	各種地盤調査に基づく液状化地盤の長期的回復傾向に関する検討	中澤博志(防災科学技術研究所)	
B12- 1371	木杭基礎を用いた液状化対策工の解析的研究	栗原悠介(法政大学)	
B12- 1376	2016年熊本地震による近見地区から川尻地区にかけての液状化被害分析	橋本隆雄(国士舘大学)	

15:30-17:15		B13 <斜面・地滑り>	座長:上田恭平(京都大学)
講演番号	講演題目	講演者	
B13- 1284	粒子法を用いた橋台の変形性能に関する解析的検討	阿部慶太(東日本旅客鉄道)	
B13- 1316	ANALYSIS OF REMAINING RISK OF LANDSLIDES IN NEPAL	Nakata Alessandra Mayumi(Yokohama National University)	
B13- 1327	SPH法による人工粘性を考慮した荒砥沢地すべりの滑動再現	石川大地(法政大学)	
B13- 1329	1G場での振動実験に基づく斜面模型の崩壊挙動の分析とNewmark法の適用性	中村晋(日本大学)	
B13- 1332	盛土本体と滑動部の振動特性を考慮した鉄道盛土の実用的な滑動変位量の算定手法	坂井公俊(鉄道総合技術研究所)	
B13- 1359	重要構造物周辺斜面の大規模地震を想定した岩盤斜面崩壊の確率論的評価	吉田 泰基(電力中央研究所)	
B13- 1385	地震時の進行型崩壊を対象としたSPH解析	小野祐輔(鳥取大学)	

10月5日(金)

9:30-10:15		B21 <液状化2・基礎>	座長:吉田雅穂(福井工業高等専門学校)
講演番号	講演題目	講演者	
B21- 1356	不連続オーガースクリューを用いた液状化対策工法に関する現場実験	芹川由布子(金沢大学)	
B21- 1362	砕石とジオシンセティックスを併用した新設および既存の道路盛土の液状化時変形抑制工法に関する模型振動実験	勝見大雅(福井工業高等専門学校)	
B21- 1318	滑り・剥離現象を考慮した直接基礎底面の接地率に関する一考察	甲田 啓太(大阪産業大学)	
B21- 1347	小径杭土の併用基礎の荷重-変位関係に関する実験的研究	土井達也(鉄道総合技術研究所)	
B21- 1386	凍結した表層地盤が杭と地盤の相互作用に与える影響の評価手法	佐藤京(寒地土木研究所)	

11:00-12:15		B22 <被害予測・社会防災1>	座長:奥村与志弘(関西大学)
講演番号	講演題目	講演者	
B22- 1301	大阪府北部の地震における通学学生の帰宅困難に関する分析	鎌田泰子(神戸大学)	
B22- 1380	平成30年北海道胆振東部地震で被災した新千歳空港利用者の交通行動分析	早水彦(金沢大学)	
B22- 1378	家庭・小売店に平時から存在する食料に着目した自助・共助の可能性に関する分析	大澤脩司(金沢大学)	
B22- 1381	乳幼児を持つ親の防災意識と災害イメージの把握 ～地震災害時における園児の親を対象として～	南貴大(金沢大学)	
B22- 1383	幼稚園に保管する防災リュックの質・量・準備意識に関する基礎的分析 ～金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園を対象として～	藤生慎(金沢大学)	

13:30-15:15		B23 <被害予測・社会防災2>	座長:藤生慎(金沢大学)
講演番号	講演題目	講演者	
B23- 1349	高密度地震観測網を用いた即時災害予測システムの吉野川市における実証実験と全体計画	中田成智(徳島大学)	
B23- 1286	熊本地震における航空写真を用いた画像解析手法による建物被害抽出	内藤昌平(防災科学技術研究所)	
B23- 1342	数量化理論第I類を用いた地震時の道路盛土部の復旧に関する分析と予測	野本篤史(法政大学)	
B23- 1365	大規模地震災害時における災害時要配慮者の被災実態に関する基礎的分析 ～小松市の健康福祉データを用いて～	酒井貴史(金沢大学)	
B23- 1377	大規模地震災害を想定した際の地域住民が持つ共助実行意思の評価-石川県羽咋市のKDBデータを用いた検討-	森崎裕磨(金沢大学)	

# 第38回地震工学研究発表会プログラム

## C会場(中セミナー室4)

10月4日(木)

10:30-12:15		C11 <断層変位・震源特性>	座長:池田隆明(長岡技術科学大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C11- 1260	FEMによる断層変位のスリップパーティショニング発生条件の探索 —逆断層と横ずれ断層の組み合わせ例—	竿本英貴(産業技術総合研究所)	
C11- 1295	活断層の出現範囲に関する研究	長谷川延広(JFEエンジニア)	
C11- 1320	GNSSデータから算出されるひずみ時系列の地震発生前の変化の検知	三神厚(東海大学)	
C11- 1340	震源地域における強震動と地表変状の関係	鈴木崇伸(東洋大学)	
C11- 1384	個別要素法による縦ずれ断層変位実験のシミュレーション	日野篤志(ジェイアール総研エンジニア)	
C11- 1317	統計的グリーン関数作成時の留意点と課題点に関する考察とその解決法	佐藤忠信(東南大学)	
C11- 1366	経験的グリーン関数法を用いた震源のモデル化-2018年島根県西部の地震(Mj6.1)-	池田隆明(長岡技術科学大学)	

13:30-15:15		C12 <地震動特性>	座長:久世益充(岐阜大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C12- 1262	エネルギー関連・長周期構造物に作用する地震波の推定とその特徴に関する考察	山本鐘太(筑波大学)	
C12- 1268	ドライビングシミュレータによるブレーキ操作を考慮した地震時の車両挙動解析	馬淵亮太郎(京都大学)	
C12- 1291	構造物へのエネルギー入力に着目したパルス波の衝撃的効果の評価	山本大喜(岐阜大学)	
C12- 1294	自治体震度計ネットワークを用いたリアルタイム震度評価の試み-鳥取県の事例-	香川敬生(鳥取大学)	
C12- 1321	地震動特性の特徴ベクトルを用いた類似波形の抽出手法	久世益充(岐阜大学)	
C12- 1326	実測値に基づくMEMSチップの地盤震動観測への適用性検討	栗田哲史(東電設計)	
C12- 1361	震度増分に及ぼすサイト増幅特性と震源スペクトルの影響に関する基本的考察	西川隼人(福井工業大学)	

15:30-17:15		C13 <地下構造・サイト特性>	座長:野口竜也(鳥取大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C13- 1307	三次元的基盤形状をもつ地盤による地震動増幅特性の系統的な理解の試み	田中裕貴(京都大学)	
C13- 1331	2018年島根県西部の地震による被害地域での臨時余震観測および微動観測	野口竜也(鳥取大学)	
C13- 1341	地盤インピーダンスの周波数依存性を考慮した非線形時刻歴応答解析手法の低振動数域における適用性検討	月岡桂吾(鉄道総合技術研究所)	
C13- 1343	サイト増幅特性のばらつきを考慮した強震動のばらつき	福島康宏(エイト日本技術開発)	
C13- 1345	熊本市・西原村等での常時微動観測事例	末富岩雄(エイト日本技術開発)	
C13- 1367	H/Vスペクトル比より推定される表層S波速度の不整形地盤における適用性	大塚経志郎(法政大学)	
C13- 1379	頂上部の堆積層が小丘陵地の地震動増幅に及ぼす影響に関する検討	石丸達也(法政大学)	

10月5日(金)

9:30-10:45		C21 <地中構造物>	座長:宮島昌克(金沢大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C21- 1255	下水道管の老朽化を原因とする道路陥没の再現実験と危険度判定方法の提案	小西 康彦(日水コン)	
C21- 1273	下水道埋設管路の地震被害データに対する統一的な整理・分析と解釈	畠山大治(筑波大学)	
C21- 1283	管路両端マンホールに着目した通信用管路の被災予測スクリーニング手法の高度化	伊藤 陽(日本電信電話)	
C21- 1288	耐震型ダクタイル鉄管を用いた断層横断部の管路設計方法の研究	小田圭太(クボタ)	
C21- 1298	計測地盤変位を用いた液化地盤における耐震継手ダクタイル鉄管の挙動検証	森本皓一(金沢大学)	

11:00-12:15		C22 <ライフライン一般>	座長:庄司学(筑波大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C22- 1271	水路と橋脚の接続状態が水路橋の地震時応答に及ぼす影響について	有賀 義明(弘前大学)	
C22- 1274	通信用橋梁系設備の既往地震被害データに関する体系的整理と分析・考察	寺島幹裕(筑波大学)	
C22- 1293	2016年熊本地震におけるライフライン被害に関する新聞報道のテキストマイニング—地方紙と全国紙の比較—	加藤宏紀(岐阜大学)	
C22- 1299	独立型取水塔に作用する地震時動水圧に関する解析的検討	秦 逸平(構造計画研究所)	
C22- 1339	矩形水槽におけるバルジング地震応答挙動の解析	井上 涼介(茨城大学)	

13:30-15:15		C23 <対津波設計・津波防災>	座長:小野祐輔(鳥取大学)
講演番号	講演題目	講演者	
C23- 1263	津波の桁への水平作用力評価式の適用性検討	佐藤崇(長大)	
C23- 1269	SPH法による構造物に作用する津波波圧の評価	渡辺高志(構造計画研究所)	
C23- 1276	橋桁に作用する津波漂流物の動態に関する実験的検討	Liu Xiaojiao(筑波大学)	
C23- 1289	沿岸部に敷設する道路盛土に発生する地震時変形量に対する解析的検証	栗林健太郎(エイト日本技術開発)	
C23- 1297	拡張現実技術を用いたハザードマップ可視化アプリの開発に向けた基礎検討	君塚遼(千葉大学)	
C23- 1308	1771年八重山地震における海底地すべり継続時間の推定	大角恒雄(防災科学技術研究所)	
C23- 1309	避難共助支援システムの構築及び位置情報共有アプリケーションを用いた地区避難実験	吉田成宏(金沢大学)	